

富士見小だより



富士見小 HP

学校教育目標 「未来を切り拓く心豊かな児童の育成」
校 訓 かしこく やさしく 元気よく

上尾市立富士見小学校 上尾市柏座 4-3-8 電話 048(771)0505

令和6年8月26日

発行責任者

校長 吉田 充

二つのお願い

校長 吉田 充

二十四節気が立秋から処暑へと変わり、暦の上では、暑さも落ち着き、朝夕などは涼しさを感じさせる頃となりましたが、もうしばらくは暑い日が続くようです。それにしても、今年の夏も異常な暑さでした。引き続き油断することなく、熱中症対策など、健康管理には十分配慮してまいりたいと思います。

本日より2学期が始まり、夏休みを満喫した子供たちが満面の笑顔で登校してまいりました。本日行われたあいさつ運動では、たくさんの保護者、地域の皆様にもお集まりいただき、元気にあいさつを交わしながら2学期の初日を迎えることができました。本当にありがとうございました。

さて、本日の始業式では、子供たちに私から二つのお願いをしました。一つ目は、一日に一つでいいので、クラスや学年など誰かのために、何かできることをしてほしいということです。「一日一善」ともよく言われますが、例えば、落ちているごみを拾う、乱れている机を整える、普段より少し、心を込めて細かなところまで掃除をする、あるいは、友だちを元気づけるような、優しい言葉をかけてあげるといったようなことです。

誰かのために何かよいことを行えば、そこには「ありがとう」という感謝の気持ち、感謝の言葉が生まれます。そして、一日一善を実行する人が増えれば、校内はありがとうという感謝の言葉でいっぱいになり、誰もが気持ちよく過ごせることになると思うのです。この2学期は、571名全員の一日571善で、571人全員が、幸せな気持ちで学校生活を送ってほしいと願っています。

二つ目は、みんなと仲よく力を合わせて生活してほしいということです。特に、571人全員が気持ちよく過ごすためにも、いじめや意地悪をしてはいけないということです。時には、意見や感じ方の違いなどから、けんかやトラブルなどが起きてしまうこともあるかと思います。しかし、そのような時も、相手の話をよく聞き、相手の気持ちを考え、自分自身をよく振り返り、最後は仲直りをしてほしいと伝えました。

学校は集団生活が基本です。集団で学んだり生活したりすることの意義は、たくさんの友達とともに、たくさんの個性や考え方に触れながら、自分をよりよく変容させていくことにあります。

そのためにも、自分ができることを進んで他者に行ったり、時には他者とぶつかりつつも、上手に乗り越えたりすることで、学校が自分にとって大切な居場所となり、そして、一人一人がかけがえのない存在として、集団の中で認められる存在となってほしいと思います。

2学期は、一年の中で一番長く、子供たちにとっては様々な学習活動や学校行事などを通して大きく成長する機会となる学期です。そんな大事な2学期、子供たちには周りの人たちとの関わりやつながりを通して、自分も他者も大切にしながら、心身ともに健やかに成長してほしいと願っています。

学校いたしましても、引き続き子供たち一人一人のよさを認め、励ましながら、一人一人を伸ばす教育を行ってまいります。そして、子供たちにとって充実した2学期となりますよう、保護者・地域の皆様のお力添えをいただきながら、精一杯取り組んでまいります。今学期もご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。